



# 生物多様性 2030年目標への道筋

2021年1月21日  
WWFジャパン  
清野比咲子



## 内容

- 1.なぜ生物多様性は大切なのか
- 2.地球は壊れつつある
- 3.回復の道筋はある

# 1. なぜ生物多様性は大切なのか

「生物多様性」とは、



- 生きものたちの豊かさとながりのこと。
- 地球上のすべての生きものは、直接的・間接的に支えあい、さまざまな環境に合わせて生活していること。
- 地球という一つの環境に息づく生命のすべて。

生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性

人を含めたすべての命と、  
壮大な地球の環を守る

魚に依存：  
43億人



天然由来医薬品  
利用：40億人

サンゴ礁が嵐や大  
波を防除：  
約2億人

木材燃料利用：  
20億人

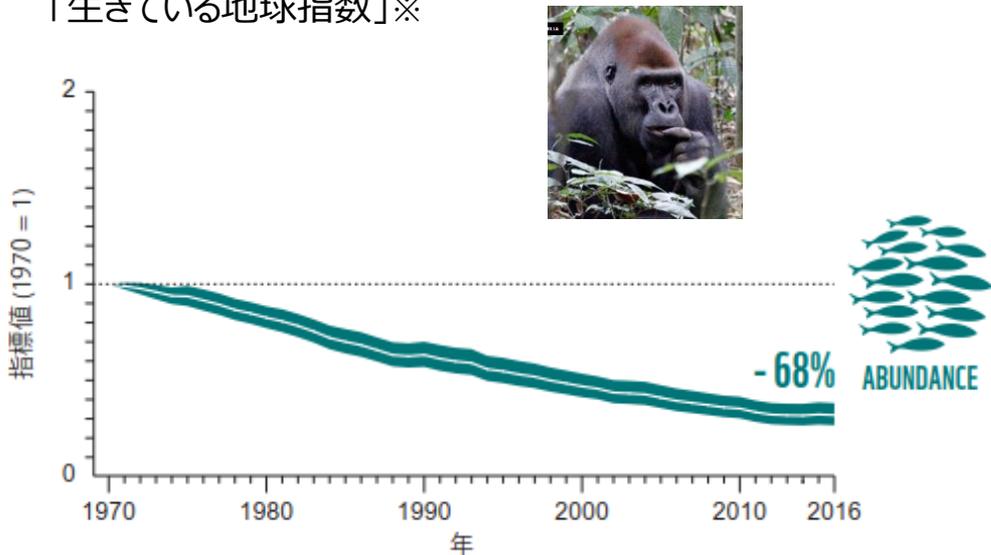
花粉媒介生物に依  
存する作物の割合：  
75%

# 2.地球は壊れつつある



生きものの豊かさは、過去50年で  
平均 **68%** 減少

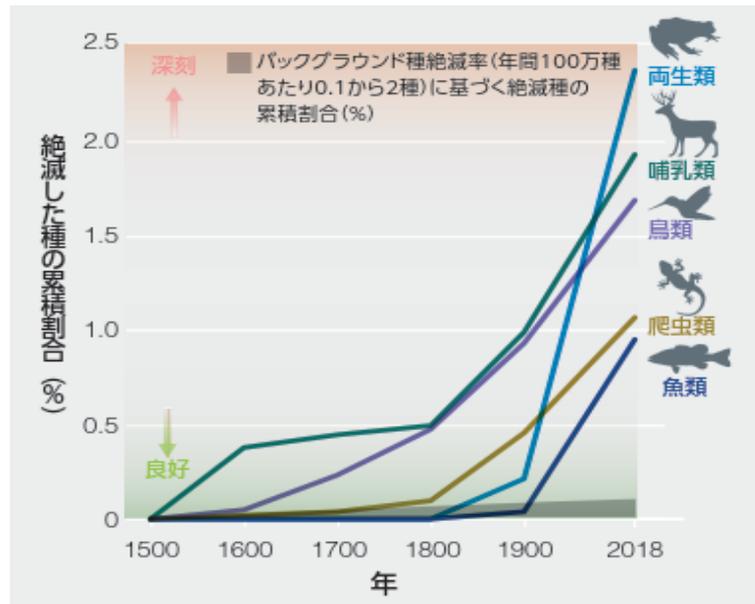
「生きている地球指数」※



※ 対象：脊椎動物  
(哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類)4,392種、  
20,811個体群

(出典：生きている地球レポート2020, WWF,2020)

800万種中約**100万**種がすでに絶滅の危機



(出典：「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価」,IPBES, 2019)

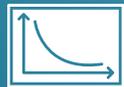
# これ以上自然破壊はできない



6度目の大絶滅に直面



次のパンデミックの原因



生活や経済にも打撃



食料危機、資源争奪、紛争



SDGsは達成できない

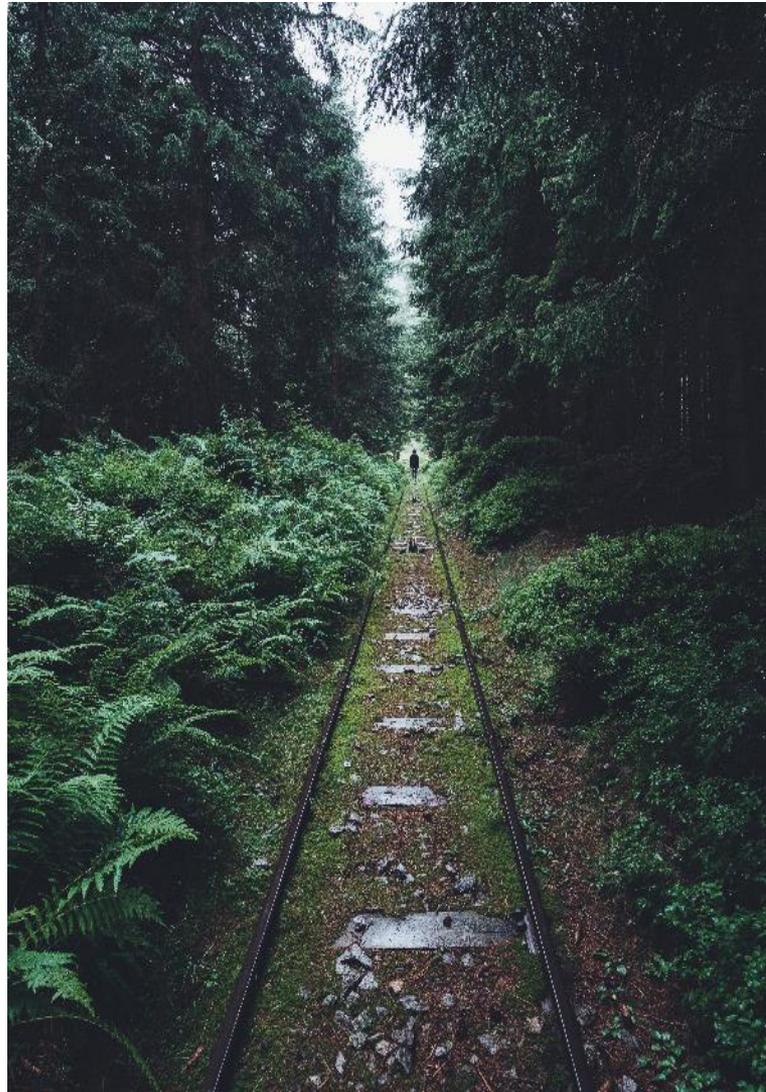


# 3.回復の道筋はある

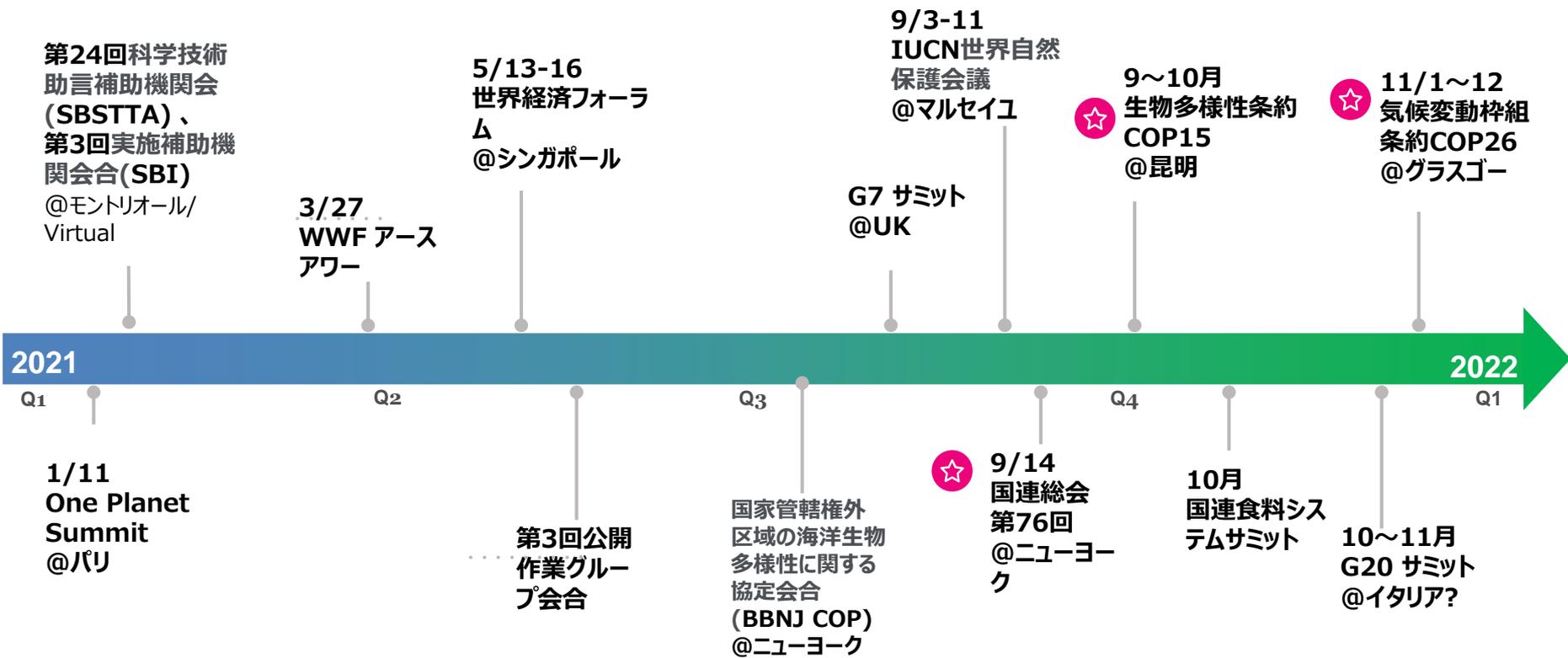
---

- ・国際協調：生物多様性条約(1992)
- ・2030年目標国際的枠組みを決める  
(2021年9～10月 @昆明,中国)
- ・多様性保全だけでなく経済の条約
- ・野心的目標設定と、具体的な実現策が必要

自然に根ざした解決策  
(NbS; Nature-based Solutions)



# 生物多様性条約第15回締約国会議 (CBD COP15) 今後のスケジュール (未確定)





# INTERACTIONS BETWEEN CLIMATE CHANGE, PEOPLE AND NATURE

Climate change drives nature loss

Human activities drive climate change

CLIMATE CHANGE

Natural systems help regulate the climate

Climate change affects people

Nature loss drives climate change

**Nature-based solutions**

Nature-based solutions can contribute to climate change mitigation, resilience and adaptation with co-benefits for nature.

Human activities drive nature loss

PEOPLE

People can protect and restore nature

NATURE

Nature provides contributions to people



©

®

**WWF**

<https://www.wwf.or.jp/>